

### 桂スチール

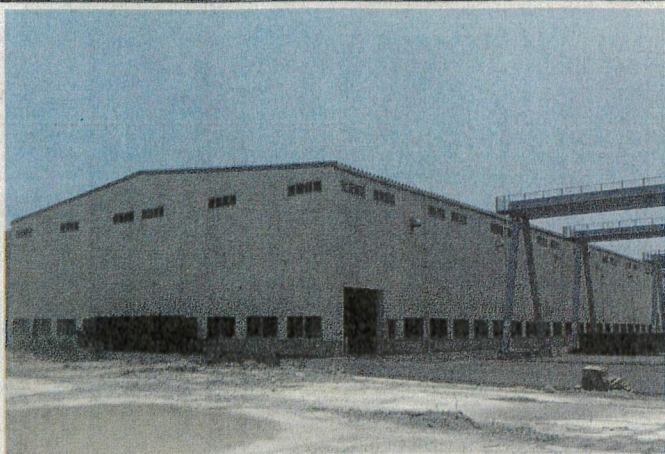
# 友延工場が全面稼働

## 超大型BHの製作強化

桂スチール(本社〓兵庫県姫路市、三木桂吾社長)は、岡山県備前市友延で昨年秋季に着工した新工場「友延工場」の第1期工事を今年5月に完了、6月に全面稼働させた。超大型のBH(ビルトH形鋼)の製作を強化するため新工場を建設していたもので、ウェブ高で最大1200㍉、フランジ幅で最大で1000㍉程度のBHが製作可能。同工場の完成により、全社のBH能力は1-2割程度アップし、月間1万ト近く引き上げた。今後はBH材料の前処理用として、最新鋭のプラズマ溶断機1基(コマツ産機製)を増設する予定。これにより、友延工場の一連の投資は完了する。

### プラズマ溶断機増設へ

友延工場



同社は国内最大手のBH製作業者で、自社工場としては岡山第1工場、岡山第2工場、岡山第3工場、岡山第5工場、玉野工場(岡山県玉野市)、姫路工場(兵庫県姫路市)を有している。BH・BT製作以外に、建築用の切板、梁加工や鋼構造物の製作などを行っており、直近のBH製作量は月間4500ト前後。

では大型再開発が進み、超高層ビルの建築が増加しており、ネット商売の拡大により、大型物流倉庫も建築ラッシュとなっている。こうした超大型物件ではウェブ高が大きいサイスや、最近ではフランジ幅の大きいサイスのBHの注文が増加していた。納期を含めてニーズにきめ細かに対応するには新工場の建設が必要と判断した。

昨年3月に岡山県備前市友延町の土地(敷地面積約4万9700平方㍍)を購入。同9月から新工場の建設を開始した。工場建屋

工事に先行する形で、昨年秋季には新工場の敷地内に鉄骨の製品・材料ヤードを2カ所(全体面積約6600平方㍍)整備し、このヤード内に屋外の門型クレーン6基、および18㍉×60㍉規模の移動式テントを設置した。

新工場の建設概要はS造で、建屋面積が約7086平方㍍。同工場の天井クレーンは20㍉が2基、10㍉が2基、4・8㍉が4基で計8基、これ以外に片門型クレーンが4基。建屋完成後、今年3-4月にはBH材料の切断用として、既存の第2工場からプラズマ切断機1基を移設するとともに、NCガスパレーナー1基を新設した。BHラインについては4-5月に、溶接機2基を新設、仮組立機2基のうちの1基を新設、1基を第1工場

から移設、矯正機2基のうちの1基を新設、1基を第1工場から移設した。BH用の切断機は5月に、ウェブ高で最大1300㍉対応設備を2基、角で最大1200㍉対応設備(工字柱対応)を1基、計3基を導入した。6月からBHの製作と二次加工を全面的に開始、軌道に乗せた。同工場ではウェブ高で最大2500㍉、フランジは板厚で最大80㍉、幅で最大1200㍉まで、長さも超長尺物の製作が可能。今後はこの機能を生かし、大型BHの製作・二次加工を強化する。また、BH材料の前処理用として、来年1月までに最新鋭のプラズマ切断機1基を新設する。同設備は厚みで最大50㍉まで加工が可能。

桂スチールは来年3月をめどに、友延工場

の敷地内に大型の太陽光発電を設置し、同春から発電を開始する。着工は今年10月、施工業者は中電工で、設置面積はトータルで2724平方㍍、工事金額は約3億円。発電能力は発電能力が2・1㍉ワ、このうち、自社工場の自家使用が1・6㍉ワ、中国電力の売電分が約1・6㍉ワ。

**太陽光発電 来春に開始**  
面積2724平方㍍